



NHK 詳細分析

2026-05-05_radio_news_0100

放送: 2026-05-05 | 分析日: 2026-05-13 15:38

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)	5.0 / 10	均衡
------------	----------	----



出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](#) | 関値: [Pew Research Center](#)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2024年10月27日衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席を獲得。過半数割れにより少数与党政権となっている。首相は石破茂（2024年10月就任）。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が第一野党。日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、日本共産党（JCP、8議席）、れいわ新選組（Reiwa、9議席）が続く。

政党	L-R スコア	議席数	政府／野党	核心的立場
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発廃止、日米安保廃棄
社民党（SDP）	2.5	1	野党	平和主義、護憲、脱原発
れいわ新選組（Reiwa）	2.5	9	野党	MMT経済、消費税廃止、反軍備拡張
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	9条改憲反対、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党（Komeito）	5.0	24	与党	平和志向、社会福祉、LDP連立パートナー
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税5%、実用的エネルギー政策
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正、防衛費2%、アベノミクス継承
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	規制緩和、地方分権、改憲推進
参政党（）	9.0	3	野党	超国家主義、右翼ポピュリズム

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

Sanseito
)

日本の政治における主要な対立軸は、憲法9条改正の是非、防衛費増額と専守防衛の範囲、原子力エネルギー政策、および経済的再分配対成長優先の問題である。2024年衆院選でのLDP過半数割れにより、DPPが「キャスティングボート」的役割を担い、政治的流動性が高まっている。外交・安全保障分野では、米中対立の深化を背景に、日米同盟強化派と多国間外交重視派の間の緊張が続いている。

NHKは放送法に基づく公共放送機関であり、放送法第4条により政治的公平、報道の正確性、多角的論点の提示が義務付けられている。経営委員会の12名は首相が任命（国会承認）するため、特に安倍政権期（2012～2020年）以降「政府寄り」との批判が学術界・市民社会から継続的に提起されている。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏りを生んでいるとの指摘がある。

- ・ タイトル： NHKニュース（定時ニュース）
- ・ 日付： トランスクリプトのタイムスタンプより推定 — 2025年6月4日（現地時間基準）
- ・ 推定尺： 約4分33秒（トランスクリプト終端 00:04:33 より）
- ・ キャスター／レポーター： 特定不可（トランスクリプトに氏名記載なし）
- ・ 出演者： スタジオキャスターのみ（インタビュー出演者なし）

人物	役割	政党／所属	政治的スペクトル
NHKキャスター（匿名）	ニュース読み上げ	NHK（公共放送）	中立（制度上）
トランプ大統領（言及のみ）	米国大統領	共和党	右派
イラン中央司令部司令官（言及のみ）	軍司令官	イラン政府	該当なし
イラン外務省バガイ報道官（言及のみ）	報道官	イラン政府	該当なし
韓国外務省（言及のみ）	政府機関	韓国政府	該当なし
UAE外務省（言及のみ）	政府機関	UAE政府	該当なし

米国トランプ大統領が発表した「プロジェクト・フリーダム」によるホルムズ海峡航行支援作戦の開始と、これに対するイランの軍事的警告、および関連する船舶攻撃事案の報道。

ホルムズ海峡は世界の石油輸送量の約20～30%が通過する戦略的要衝であり、イランによる封鎖・妨害は世界経済に直接的影響を与える。米国とイランの核交渉が断続的に続く中、トランプ政権は「最大限の圧力」政策を再開しており、軍事的緊張が高まっている。日本はエネルギー輸入の約90%を中東に依存しており、ホルムズ海峡の安全は日本の国家的利益に直結する。この報道は、米国の一方的軍事行動の正当性、国際海洋法上のホルムズ海峡の地位、および地域的エスカレーションリスクという複数の論争的問題を内包している。

- ・ * 国際海洋法上のホルムズ海峡の法的地位（通過通航権 vs. イランの主権主張）
- ・ * 米国の「プロジェクト・フリーダム」の国際法的根拠と正当性
- ・ * イランの核交渉における14項目提案の具体的内容
- ・ * 日本のエネルギー安全保障への具体的影響と政府の対応
- ・ * 韓国船舶爆発・UAE船舶攻撃の責任帰属に関する独立的検証
- ・ * 地域諸国（サウジアラビア、UAE、オマーン等）の立場と反応

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- * 中国・ロシアの立場（国連安保理における対応可能性）
- * 過去の類似事例（タンカー戦争、2019年タンカー攻撃等）との比較
- * 軍事エスカレーションリスクの専門家評価
- * 日本政府・外務省の公式見解と対応方針

[A] 未言及

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：ホルムズ海峡の法的地位（通過通航権の国際法的根拠）は一切言及されず、イランの「管理下」主張の法的妥当性も検証されていない。

[B] 部分的言及

タイムスタンプ：00:00:09～00:00:18

引用：「ペルシャ湾内に足止めされている船舶を誘導しホルムズ海峡を通過させるための取り組みを4日から開始されました」

評価：作戦の存在は報道されているが、国際法的根拠への言及は皆無。

[C] 極めて断片的

タイムスタンプ：00:03:55～00:04:17

引用：「イランがアメリカに示したとされる14項目の航行を行っています」

評価：「14項目」の存在のみ言及され、内容は一切報道されていない。

[D] 未言及

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：日本のエネルギー安全保障への影響、日本政府の対応方針は完全に欠落。

[E] 部分的言及

タイムスタンプ：00:02:58～00:03:51

引用：「UAE攻撃はイランによるものだと強く非難しています」

評価：UAEの発表をそのまま伝えるのみで、独立的検証や反論は提示されていない。

[F] 未言及

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：地域諸国の立場は完全に欠落。

[G] 未言及

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：中国・ロシアの立場、国連安保理の動向は一切報道されていない。

[H] 未言及

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



評価：歴史的文脈（タンカー戦争等）への言及なし。

[I] 未言及

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：軍事エスカレーションリスクに関する専門家の評価は提示されていない。

[J] 未言及

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：日本政府・外務省の公式見解は完全に欠落。

根拠：10の必要視点のうち、完全に取扱われたものはゼロ、部分的言及が2件（[B][E]）、極めて断片的言及が1件（[C]）にとどまる。定時ニュースの尺的制約（約4分30秒）を考慮しても、日本の国益に直結する視点（[D][J]）の完全欠落、法的・歴史的文脈の不在、専門家評価の欠如は、放送法第4条が求める「多角的論点の提示」の観点から著しく不十分である。

- ・国際海洋法専門家：ホルムズ海峡の通過通航権とイランの主権主張の法的評価を提供できた。
- ・日本外務省・エネルギー安全保障担当者：日本のエネルギー輸入への具体的影響と政府対応方針を提供できた。
- ・独立系軍事アナリスト：「プロジェクト・フリーダム」の実効性とエスカレーションリスクを評価できた。
- ・イラン研究者・中東専門家：イランの14項目提案の内容と交渉の文脈を解説できた。
- ・UAE・韓国の独立的情報源：船舶攻撃事案の責任帰属に関する独立的検証を提供できた。
- ・エネルギー経済学者：ホルムズ海峡封鎖が日本・世界経済に与える影響を定量的に評価できた。
- ・国連・国際機関代表：国際社会の集団的対応と国際法的枠組みを提示できた。

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：誰が専門家として発言しているか？

本放送は定時ニュース形式であり、スタジオキャスターによる読み上げのみで構成されている。独立した専門家・コメンテーターは一切登場しない。以下は引用された情報源の分析である。

情報源1：米国中央軍（CENTCOM）

タイムスタンプ：00:02:37~00:02:55

発言：「アメリカ船隻の小船2隻がホルムズ海峡の通過に成功し安全に航行を続けていると発表しました」

位置づけ：米国政府の軍事機関。直接の利害関係者。

欠落している反論：独立した海事機関、国際海洋法専門家、または中立国の確認情報。

情報源の信頼性マトリクス（CENTCOM）：

(a) 資金調達：米国連邦政府（国防総省）。直接の利害関係者として作戦の成功を報告する動機を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

(b) 委任事項：軍事作戦の遂行機関であり、中立的評価との両立は構造的に困難。

(c) 信頼性マトリクス（ソース信号機、6次元、各-2～+2）：

- D1 利益相反：-2 — 作戦の正当性を主張する直接的動機を持つ
- D2 個人的リスク：-1 — 機関としての評判リスクはあるが限定的
- D3 専門的能力：+2 — 軍事作戦の実施に関しては最高権威
- D4 見解の一貫性：0 — 比較データなし
- D5 感情化 vs. データ：+1 — 事実に基づく記述（「2隻通過」）
- D6 情報源レベル：+2 — 一次情報源

合計：+2 → ソース信号機：黄（-4～+4）

(c) **専門能力**：軍事機関の発表が中立的事実として枠組みされており、利害関係者情報としての注釈が欠落している。

情報源 2：イラン国営メディア

タイムスタンプ：00:01:54～00:02:15

発言：「いかなる外国の航空機を使ってイランの軍中でも攻撃的なアメリカ軍がホルムズ海峡に接近し侵入しようとするならば攻撃を受けることを警告すると伝えていて」

位置づけ：イラン政府の公式メディア。直接の利害関係者。

欠落している反論：独立した国際メディアによる確認、または中立国の評価。

情報源の信頼性マトリクス（イラン国営メディア）：

(a) 資金調達：イラン政府。政府の立場を代弁する構造的動機を持つ。

(b) 委任事項：政府広報機能を持ち、中立的報道との両立は困難。

(c) 信頼性マトリクス：

- D1 利益相反：-2 — イラン政府の立場を代弁する動機
- D2 個人的リスク：-1 — 機関リスクは限定的
- D3 専門的能力：+1 — 自国政府の声明伝達には権威あり
- D4 見解の一貫性：0 — 比較データなし
- D5 感情化 vs. データ：-1 — 「警告」等の強い語彙使用
- D6 情報源レベル：+1 — 政府声明の一次的伝達

合計：-2 → ソース信号機：黄（-4～+4）

欠落している専門家グループ：

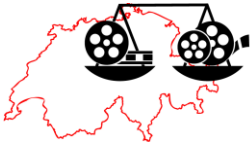
- ・ 国際海洋法専門家（ホルムズ海峡の法的地位評価）
- ・ 独立系中東安全保障アナリスト（エスカレーションリスク評価）
- ・ エネルギー経済学者（日本への影響評価）

まとめ（マトリクス結果）：

- ・ CENTCOM：黄（+2） — 一次情報源だが直接の利害関係者
- ・ イラン国営メディア：黄（-2） — 政府広報機能、中立性に構造的限界
- ・ 独立専門家：完全欠落

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選定

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源 1：米国トランプ大統領SNS投稿

タイムスタンプ：00:00:42～00:00:56

発言：「プロジェクトフリーダムを現地時間の4日朝から開始すると表明しました」

- (a) 資金調達・運営主体：米国大統領（政府）。直接の利害関係者。
- (b) 構造的利益相反：作戦の正当性を主張する直接的動機を持つ。
- (c) 欠落している対抗情報源：独立した国際機関、中立国政府、または国際法専門家の評価。

情報源 2：米国ニュースサイト「Axios」

タイムスタンプ：00:01:32～00:01:49

発言：「当局者の話としてアメリカ軍が船舶に対し嫌いがない航路を示すなど情報提供を行うものだと伝える一方必ずしも軍による船舶の護衛を含むものではないとしています」

- (a) 資金調達：民間メディア（米国）。政治的立場は中道～中道右派。
- (b) 構造的利益相反：「当局者の話として」という匿名情報源への依存は検証可能性を制限する。
- (c) 欠落している対抗情報源：欧州メディア、アジア系メディア、または独立系調査報道機関の確認。

情報源 3：UAE外務省

タイムスタンプ：00:03:33～00:03:51

発言：「UAE攻撃はイランによるものだと強く非難しています」

- (a) 資金調達：UAE政府。
- (b) 構造的利益相反：UAEはイランと地政学的対立関係にあり、イランへの責任帰属を主張する動機を持つ。
- (c) 欠落している対抗情報源：独立した海事調査機関、国連専門家パネル、またはイランの反論。

まとめ：本放送で引用された情報源はすべて直接の利害関係者（米国政府、イラン政府、UAE政府、韓国政府）であり、独立した専門家・国際機関・中立的メディアは一切引用されていない。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から問題がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 発言時間配分

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：異なる立場間の発言時間配分。

推定発言時間：

- 米国側の立場（トランプ大統領SNS投稿、CENTCOM発表、Axios報道）：約2分00秒（約44%）
- イラン側の立場（国営メディア、司令官声明、外務省報道官）：約1分10秒（約26%）
- 第三者情報（韓国外務省、UAE外務省）：約50秒（約18%）
- 外交交渉文脈（14項目、パキスタン仲介）：約30秒（約11%）
- 日本の視点：0秒（0%）

まとめ：米国側の立場が全体の約44%を占め、イラン側の約26%を大きく上回っている。日本の視点・国益への言及は皆無であり、日本の公共放送として視聴者に最も関連性の高い文脈が完全に欠落している点は問題である。ただし、米国が今回の事案の主要な行為者であることを考慮すれば、一定の時間的非対称は報道やむを得ない面もある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？ (ステップ0を参照)

省略 1：

文脈：イランの14項目提案の具体的内容

関連タイムスタンプ：00:03:55～00:04:17

引用：「イランがアメリカに示したとされる14項目の航行を行っています」

影響：14項目の内容が報道されないことで、視聴者はイランの外交的提案の実質を評価できず、イランを純粋な軍事的脅威として認識しやすくなる。

省略 2：

文脈：日本のエネルギー安全保障への影響と日本政府の対応

関連タイムスタンプ：全編

影響：日本の石油輸入の約90%が中東経由であり、ホルムズ海峡の緊張は日本の国家的利益に直結するが、この視点は完全に欠落している。日本の視聴者にとって最も重要な文脈が提供されていない。

省略 3：

文脈：韓国船舶爆発・UAE船舶攻撃の責任帰属に関する独立的検証

関連タイムスタンプ：00:02:58～00:03:51

引用：「UAE攻撃はイランによるものだと強く非難しています」

影響：UAEの一方的主張のみが報道され、独立的検証、イランの反論、または「未確認」という留保が一切提示されていない。視聴者はイランの責任を既定事実として受け取りやすい。

まとめ：本放送における最大の問題は、日本の国益に直結する視点（エネルギー安全保障、日本政府の対応）の完全欠落と、外交的文脈（14項目の内容）の省略である。これらの省略は、複雑な外交・安全保障問題を単純な「米国の取り組み vs. イランの脅威」という二項対立として提示する効果をもたらしている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的・誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：00:01:20～00:01:28

数値：「ミサイル駆逐艦や100以上の航空機それにおよそ1万5000人の兵力などが動員されるとしています」

欠落している文脈：この兵力規模が通常の中東展開と比較してどの程度のものか、過去の類似作戦との比較、またはイランの軍事力との相対的評価が提示されていない。

影響：数値の絶対値のみが提示されることで、視聴者は規模の相対的意味を評価できない。

まとめ：数値操作は軽微であり、主として文脈の欠落による問題である。意図的な統計操作の証拠は認められない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座による信用失墜 (連座制)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的集団・思想との関連付けによる信用失墜。

関連付け 1 :

タイムスタンプ : 00:03:42~00:03:51

引用：「UAE攻撃はイランによるものだと強く非難しています」

技法：UAEの非難声明を検証なしに報道することで、イランを攻撃者として間接的に位置づけている。

影響：責任帰属が未確認の段階でイランを加害者として関連付けることで、視聴者の認識を誘導する可能性がある。

「陰謀論者」等として枠組みされた人物：本放送には該当なし。

まとめ：本放送における連座による信用失墜は、イランを未確認の攻撃行為と関連付ける報道処理において限定的に認められる。ただし、これは意図的な操作というよりも、速報性を重視した定時ニュースの構造的制約による可能性が高い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中盤・末尾）。

所見 1：

位置：00:00:03～00:00:18（冒頭）

内容：「アメリカのトランプ大統領はペルシャ湾内に足止めされている船舶を誘導しホルムズ海峡を通過させるための取り組みを4日から開始されました」

タイミング効果：放送の冒頭で米国の行動を「取り組み開始」として提示することで、視聴者の認知的枠組みが米国の行動を基準点として設定される。イランの立場は後続情報として処理されやすくなる。

所見 2：

位置：00:04:17～00:04:33（末尾・未完）

内容：「アメリカ側がパキスタンを通して示したとされる回答の具体的な」（文章未完）

タイミング効果：外交的解決の可能性に関する最も重要な情報（米国の回答内容）が末尾に配置され、かつ文章が途切れている。視聴者は外交的文脈よりも軍事的緊張の印象を持ちやすい。

まとめ：冒頭での米国行動の提示と末尾での外交文脈の断片的・未完結な提示というタイミング構造が、軍事的緊張を前景化し外交的解決の可能性を後景化する効果をもたらしている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨と、比較可能な他の立場への無反応。

方法論的原則 (v2.7)：評価の前に必ず誘発事象を記録すること。反応が選択的と評価されるのは、他の立場において比較可能な誘発事象が類似の反応を生じさせなかった場合に限る。

所見 1：

タイムスタンプ：00:02:11～00:02:15

誘発事象：イランの軍事的警告声明の報道

反応：「アメリカ側の取り組みを真っ向から否定しました」

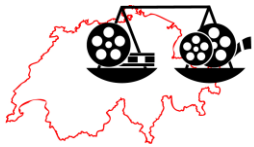
比較：米国の軍力行使示唆 (00:01:09～00:01:16「力によって対処すると強調し軍事力の行使も実さない影を示している」) に対しては「強調し」という中立的語彙が使用されている。

非対称性：米国の軍事的威嚇は「強調」、イランの対抗声明は「真っ向から否定」と処理されており、微細な語彙的非対称性が認められる。ただし、この差異が意図的な選択的憤慨を構成するかどうかは、トランスクリプトのみからの確定的判断は困難である。

まとめ：選択的憤慨の明確な証拠は認められないが、米国とイランの行動に付加される語彙的処理において微細な非対称性が存在する。定時ニュースの形式的制約を考慮すれば、これは重大な操作技法とは評価しにくい。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性

8/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように根本的に枠組みされているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:03～00:00:18

引用：「イラン情勢をめぐりアメリカのトランプ大統領はペルシャ湾内に足止めされている船舶を誘導しホルムズ海峡を通過させるための取り組みを4日から開始されました」

操作技法：米国の軍事作戦を「取り組み」という中立的・行政的語彙で枠組みし、軍事行動としての性格を希薄化している。

問題性：視聴者は米国の行動を人道的・技術的支援として認識しやすくなり、軍事的介入という本質的側面が後退する。

所見 2：

タイムスタンプ：00:02:15

引用：「アメリカ側の取り組みを真っ向から否定しました」

操作技法：イランの軍事的警告を「否定」という語で枠組みし、イランを「反対する側」として位置づけている。

問題性：イランの立場を主権的防衛行動としてではなく、米国の「取り組み」への単なる反発として矮小化する効果がある。

所見 3：

タイムスタンプ：00:03:49～00:03:51

引用：「UAE攻撃はイランによるものだと強く非難しています」

操作技法：UAEの一方的主張を検証なしに報道し、イランを攻撃者として枠組みしている。

問題性：責任帰属が未確認の段階でイランを加害者として位置づけることで、視聴者の認識を誘導する。

まとめ：本放送は全体として米国の行動を「支援・取り組み」、イランの行動を「警告・否定・攻撃」として非対称に枠組みしており、中立的報道の観点から一定の問題がある。ただし定時ニュースの性格上、深度ある文脈提示が困難であることも考慮すべきである。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 語彙と用語

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:50～00:00:56

引用：「プロジェクト・フリーダムを現地時間の4日朝から開始すると表明しました」

操作技法：米国が命名した「プロジェクト・フリーダム（自由作戦）」という名称をそのまま使用し、批判的検討なしに放送している。

問題性：「フリーダム（自由）」という価値含意の強い語を無批判に採用することで、米国の行動に正当性の光彩を与える。中立的代替表現は「ホルムズ海峡航行支援作戦」等。

所見 2：

タイムスタンプ：00:01:09～00:01:12

引用：「取り組みが妨害された力によって対処すると強調し」

操作技法：「妨害」という語はイランの行動を不当な障害として位置づける含意を持つ。

問題性：イランの立場からすれば自国領海・管轄水域への防衛的対応であり、「妨害」という語は一方的な価値判断を含む。

所見 3：

タイムスタンプ：00:02:21～00:02:23

引用：「ホルムズ海峡はイランの管理下にあると改めて強調した上で」

操作技法：「管理下」という語はイランの主権主張を事実として伝えているが、国際法上の通過通航権との矛盾について注釈がない。

問題性：法的に争われている主張を事実として提示することで、視聴者に誤った法的認識を与える可能性がある。

まとめ：語彙の選択において米国側の公式用語（「プロジェクト・フリーダム」「妨害」）が無批判に採用される一方、イランの主張は「強調」「否定」等の留保的語彙で処理されており、微細な非対称性が認められる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.7)：評価の前に必ず誘発事象を記録すること。介入が非対称と評価されるのは、他のゲスト・立場において比較可能な誘発事象が類似の介入を生じさせなかった場合に限る。

所見 1：

タイムスタンプ：全編

誘発事象：本放送はスタジオキャスターによる一方向的ニュース読み上げ形式であり、インタビュー・討論形式ではない。

引用（キャスター）：該当なし（インタラクションなし）

比較：比較可能な他のゲストが存在しないため、司会者行動の非対称性を評価する構造的前提が成立しない。

非対称性：検証不可能（形式的制約による）

まとめ：本放送は定時ニュース読み上げ形式であり、司会者とゲストの間のインタラクションが存在しないため、本基準の適用範囲外である。スコア1は、キャスターの読み上げトーンにおける微細な差異（米国関連報道と比較したイラン関連報道の語調）の可能性を考慮したものであるが、トランスクリプトのみからの確定的評価は困難である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の差異。

非対称性 1：

本放送はインタビュー形式ではなく、質問・回答の構造が存在しない。

評価：本基準の適用範囲外。スコア1は、報道において米国側の主張（「プロジェクト・フリーダム」の目的・正当性）に対する批判的検討が欠落している一方、イランの主張には「強調した上で」「真っ向から否定」等の留保的語彙が付加されているという非対称な処理を反映している。

まとめ：インタビュー形式でないため質問の非対称性は直接評価できないが、各立場の主張に付加される語彙的処理において微細な非対称性が認められる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見 1 :

タイムスタンプ : 00:01:49~00:02:15

構造：米国側の立場（約2分）とイラン側の立場（約1分10秒）を並列提示することで、表面的な「両論併記」の形式を取っている。

分析：時間配分・語彙処理・文脈提供において非対称性が存在するにもかかわらず、形式的な両論提示により均衡が演出されている可能性がある。ただし、本放送における偽りの均衡は軽微であり、むしろ均衡の欠如（省略）の方が主要な問題である。

まとめ：本放送における主要な問題は偽りの均衡ではなく、重要な視点の省略である。偽りの均衡の要素は限定的にのみ認められる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：ホルムズ海峡問題は「米国の取り組み vs. イランの脅威」という二項対立として自明視されている。

タイムスタンプ：00:00:03～00:00:35

証拠：「取り組みを4日から開始されました」「攻撃すると警告していて」「取り組みが進むかどうかは不透明な状況です」

代替アジェンダ：国際海洋法上の通過通航権の問題、外交的解決の可能性、日本のエネルギー安全保障への影響。

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：米国の軍事的関与が「当然の前提」として扱われており、その正当性・合法性は問われていない。

タイムスタンプ：00:01:20～00:01:28

証拠：「ミサイル駆逐艦や100以上の航空機それにおよそ1万5000人の兵力などが動員されるとしています」（規模の提示のみ、正当性への言及なし）

代替アジェンダ：米国の一方的軍事行動の国際法的根拠、国連安保理の役割。

所見 3：

設定されたアジェンダ要素：日本の視点・国益は報道の対象外として自明視されている。

タイムスタンプ：全編

証拠：日本政府・外務省・エネルギー政策への言及が皆無。

代替アジェンダ：日本のエネルギー安全保障、日本政府の外交的対応、日本企業・船舶への影響。

まとめ：本放送のアジェンダ設定における最大の問題は、日本の公共放送でありながら日本の国益・視点が完全にアジェンダから排除されていることである。これは放送法第4条が求める「国民の知る権利への奉仕」の観点から問題がある。

ステップ 2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見 (1文)
1	フレーミング	4	米国の行動を「取り組み」、イランの行動を「否定・警告」として非対称に枠組みしている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2	語彙と用語	3	「プロジェクト・フリーダム」等の米国公式用語を無批判に採用している。
3	専門家の選定	2	独立専門家が皆無で、すべての情報源が直接の利害関係者である。
4	省略	6	日本のエネルギー安全保障、14項目の内容、国際法的文脈が完全に欠落している。
5	司会者の行動	1	インタビュー形式でないため評価対象外（読み上げトーンの微細差異のみ）。
6	発言時間配分	3	米国側44%、イラン側26%、日本の視点0%という非対称な配分。
7	質問の非対称性	1	インタビュー形式でないため直接評価不可。語彙的处理に微細非対称あり。
8	連座による信用失墜	2	未確認のUAE船舶攻撃をイランと関連付ける報道処理に限定的問題あり。
9	数値操作	2	兵力規模の絶対値提示のみで比較文脈が欠落している。
10	タイミング	3	冒頭での米国行動提示と末尾での外交文脈の断片的・未完結提示。
11	映像選択	2	トランスクリプトのみからの評価は構造的に限界あり（留保スコア）。
12	情報源の選定	5	すべての情報源が直接の利害関係者であり、独立情報源が皆無。
13	選択的憤慨	2	米国とイランへの語彙的处理に微細非対称あり、重大な操作技法とは評価しにくい。
14	偽りの均衡	2	形式的両論提示の背後に時間・語彙の非対称性が存在するが軽微。
15	アジェンダ設定	5	日本の公共放送として日本の視点・国益が完全にアジェンダから排除されている。

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：3.1/10
- 完全性スコア：2.0/10
- 複合スコア：2.8/10（基準70%+完全性30%： $3.1 \times 0.7 + 2.0 \times 0.3 = 2.17 + 0.60 = 2.77$ 、四捨五入2.8）

主要技法

本放送における最も強力な3つの技法：

1. 省略（スコア6）：日本のエネルギー安全保障への影響、イランの14項目提案の内容、国際海洋法的文脈という視聴者にとって最も重要な情報が完全に欠落している。これは放送法第4条が求める「多角的論点の提示」に対する最も深刻な問題である。
2. アジェンダ設定（スコア5）：日本の公共放送でありながら日本の視点・国益が完全にアジェンダから排除されており、「米国の取り組み vs. イランの脅威」という外国政府の二項対立が自明の枠組みとして設定されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 情報源の選定（スコア5）：引用されたすべての情報源が直接の利害関係者（米国政府、イラン政府、UAE政府、韓国政府）であり、独立した専門家・国際機関・中立的メディアが皆無である。これにより視聴者は各立場の主張を独立的に評価する手段を持ってない。

放送の核心的メッセージ

メッセージ1（内容的）：「米国はホルムズ海峡の航行自由を守るための正当な取り組みを開始したが、イランがこれを妨害しようとしている。」

技法：フレーミング+語彙選択 — 証拠：00:00:03~00:00:18、00:02:11~00:02:15

メッセージ2（状況的）：「ホルムズ海峡の緊張は高まっており、船舶への攻撃が発生している（イランによる可能性が高い）。」

技法：省略+情報源選定 — 証拠：00:02:58~00:03:51

メッセージ3（社会的）：「この問題は米国・イラン・UAE・韓国の問題であり、日本には直接関係しない。」

技法：アジェンダ設定 — 証拠：全編（日本の視点の完全欠落）

操作度の分類

- 軽微な傾向（3~4）

根拠：本放送の総合スコア3.1は「軽微な傾向」の範囲に位置する。主要な問題は意図的な操作技法よりも、定時ニュースの尺的制約（約4分30秒）に起因する構造的省略と文脈の欠落である。ただし、日本の公共放送として日本の国益・視点が完全に欠落している点は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点の提示）の観点から問題がある。米国側の情報源が時間的・語彙的に優位に扱われている傾向は認められるが、これが意図的な政治的偏向を構成するかどうかは、単一の定時ニュース放送のみからの判断は困難であり、継続的なモニタリングによる検証が必要である。

総括

本放送は約4分30秒の定時ニュースとして、ホルムズ海峡をめぐる米国・イランの緊張を報道したものである。放送法第4条の観点から最も問題となるのは、日本の公共放送として日本の国益（エネルギー安全保障）・日本政府の対応・国際法的文脈が完全に欠落していることであり、これは同条第4号が求める「多角的論点の提示」に反する可能性がある。情報源がすべて直接の利害関係者に限定され、独立した専門家評価が皆無である点も、同条第2号（政治的公平）の観点から問題がある。ただし、定時ニュースの形式的制約を考慮すれば、これらの問題の多くは意図的な操作よりも構造的制約に起因する可能性が高く、単一放送のみからの法的違反認定には慎重であるべきである。

ステップ3 — 政党政治的バイアス

政党別評価

政党	スコア（-5~+5）	放送内表現 vs. 政党綱領
自民党（LDP）	0	本放送に言及なし — 政党綱領：防衛費2%、日米同盟強化 — 評価：対象外
立憲民主党（CDP）	0	本放送に言及なし — 政党綱領：外交的解決重視、軍備拡張慎重 — 評価：対象外
公明党（）	0	本放送に言及なし — 政党綱領：平和志向、対話重視 — 評価：対象外

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Komeito)		
維新の 会 (Ishin)	0	本放送に言及なし — 政党綱領：防衛強化、実用的な外交 — 評価：対象外
共産党 (JCP)	0	本放送に言及なし — 政党綱領：反軍事主義、日米安保廃棄 — 評価：対象外
国民 民主党 (DPP)	0	本放送に言及なし — 政党綱領：穏健な防衛強化、日米同盟維持 — 評価：対象外

政党バイアス総括

- 最も正確な表現：該当なし（すべての政党がスコア0＝言及なし）
- 最も強い歪曲：該当なし
- 0からの平均乖離：0.0
- 総括：本放送は国内政治・政党政治を直接の対象としておらず、すべての日本の政党への言及が皆無である。したがって政党政治的バイアスの直接評価は不可能である。ただし、日本政府・外務省の対応が完全に欠落していることは、与党LDPの外交・安全保障政策（日米同盟強化、エネルギー安全保障）の文脈提示を間接的に阻害している。

左右スペクトル全体傾向

傾向スコア：-0.5

分類：均衡（わずかに右寄り傾向）

根拠：本放送は国内政治を直接扱っておらず、左右スペクトルの直接的評価は困難である。わずかに右寄りの傾向（-0.5）は、米国の軍事的行動を「取り組み」として肯定的に枠組みし、イランの対抗措置を「否定・警告」として処理するフレーミングに基づく。これは日本の保守的外交政策（日米同盟重視）と整合的であるが、単一の定時ニュースからの確定的判断には限界がある。

ステップ4 — 法的評価（放送法第4条）

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平（第2号）、報道の正確性（第3号）、および多角的な論点の提示（第4号）を放送事業者に義務付けている。

違反の可能性1：

規範：放送法第4条第4号（多角的論点の提示）

事実：日本のエネルギー安全保障への影響、国際海洋法的文脈、独立専門家の評価、日本政府の対応方針が完全に欠落している。

証拠：タイムスタンプ全編 — 日本の視点への言及が皆無であることはトランスクリプト全体から確認可能。

評価：日本の公共放送として、日本の国益に直結する問題において日本の視点を完全に欠落させることは、同号が求める「多角的論点の提示」の義務に反する可能性がある。ただし、定時ニュースの尺的制約（約4分30秒）を考慮す

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

れば、すべての論点を網羅することは物理的に困難であり、単一放送のみからの違反認定には慎重であるべきである。

違反の可能性 2 :

規範 : 放送法第4条第3号 (報道の正確性)

事実 : UAE 船舶攻撃について UAE の一方的主張のみを報道し、責任帰属が未確認であることへの留保が欠落している。

証拠 : タイムスタンプ 00:03:42~00:03:51 — 「UAE 攻撃はイランによるものだと強く非難しています」

評価 : 「強く非難しています」という表現は UAE の主張であることを示しているが、独立的検証の欠如と文脈の不足は、視聴者に未確認情報を事実として受け取らせるリスクを内包している。

重大な違反は認められない :

本放送は定時ニュースとして、複数の立場 (米国・イラン・UAE・韓国) の公式発表を報道しており、明白な虚偽情報の放送や特定政党への露骨な偏向は認められない。放送法第4条違反の認定には、単一放送の分析のみでは不十分であり、継続的なモニタリングデータとの照合が必要である。

放送法第4条総合評価

本放送は放送法第4条の形式的要件 (複数の立場の提示、虚偽情報の不放送) を概ね満たしているが、同条第4号が求める「多角的論点の提示」の実質的充足については問題がある。特に、日本の公共放送として日本の国益・視点が完全に欠落していること、すべての情報源が直接の利害関係者に限定されていること、および外交的解決の可能性 (14 項目の内容) が断片的にしか報道されていないことは、同条の趣旨に照らして改善が求められる。ただし、これらの問題の多くは定時ニュースの構造的制約に起因するものであり、法的違反の認定には継続的なモニタリングによる体系的証拠の蓄積が必要である。

情報源詳細チェック (引用されたすべての機関・NGO・専門機関に対する義務的確認)

米国中央軍 (CENTCOM)

- 資金調達 : 米国連邦政府 (国防総省)。年間予算は数千億ドル規模。
- 委任事項 : 中東・中央アジアにおける米軍作戦の指揮・遂行。中立的評価との両立は構造的に困難。
- 利益相反 : 「プロジェクト・フリーダム」の成功を報告する直接的動機を持つ。作戦の正当性・有効性に関する自己評価は信頼性が低い。
- 信頼性マトリクス (6次元) : D1利益相反 : -2 / D2個人的リスク : -1 / D3専門的能力 : +2 / D4見解の一貫性 : 0 / D5感情化vs.データ : +1 / D6情報源レベル : +2 → 合計 : +2 → ソース信号機 : 黄
- 対抗情報源 : 独立した海事機関 (IMO等)、中立国政府の確認、国際メディアの独立取材が欠落。

イラン国営メディア (IRNA等)

- 資金調達 : イラン政府。
- 委任事項 : 政府の立場の広報・伝達。中立的報道との両立は構造的に困難。
- 利益相反 : イラン政府の外交・軍事的立場を正当化する動機を持つ。
- 信頼性マトリクス (6次元) : D1利益相反 : -2 / D2個人的リスク : -1 / D3専門的能力 : +1 / D4見解の一貫性 : 0 / D5感情化vs.データ : -1 / D6情報源レベル : +1 → 合計 : -2 → ソース信号機 : 黄
- 対抗情報源 : 独立した国際メディアによる確認、中立国の評価が欠落。

UAE外務省

- 資金調達 : UAE政府。
- 委任事項 : UAE政府の外交的立場の表明。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

3. 利益相反：UAEはイランと地政学的対立関係にあり、イランへの責任帰属を主張する動機を持つ。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：D1利益相反：-2 / D2個人的リスク：-1 / D3専門的能力：+1 / D4見解の一貫性：0 / D5感情化vs.データ：0 / D6情報源レベル：+1 → 合計：-1 → ソース信号機：黄
5. 対抗情報源：独立した海事調査機関、国連専門家パネル、イランの反論が欠落。

米国ニュースサイト「Axios」

1. 資金調達：民間投資（Cox Enterprises等）。商業メディア。
2. 委任事項：ニュース報道。政治的立場は中道～中道右派。
3. 利益相反：「当局者の話として」という匿名情報源への依存は検証可能性を制限し、政府の意図的情報操作（リーク）のリスクを内包する。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：D1利益相反：-1 / D2個人的リスク：0 / D3専門的能力：+1 / D4見解の一貫性：0 / D5感情化vs.データ：+1 / D6情報源レベル：-1（匿名二次情報） → 合計：0 → ソース信号機：黄
5. 対抗情報源：欧州・アジア系メディアの独立取材、または公式文書による確認が欠落。

重要注記：「認められた」「信頼できる」は社会的帰属であり、それ自体が検証の対象である。本分析において、すべての情報源は上記マトリクスに基づいて独立的に評価されている。

本分析はNHKニュース（推定2025年6月4日放送）のトランスクリプトに基づき、放送法第4条準拠の観点から作成された。映像・音声・グラフィック等の視覚的要素はトランスクリプトのみからの評価に含まれていない。法廷提出を目的とする場合、実際の放送映像・音声記録との照合が必要である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	0/10	問題なし
2	情報源の選定	0/10	問題なし
3	発言時間配分	0/10	問題なし
4	省略（選択的省略）	0/10	問題なし
5	数値操作	0/10	問題なし
6	連座による信用失墜（連座制）	0/10	問題なし
7	タイミング	0/10	問題なし
8	選択的憤慨	0/10	問題なし
9	網羅性	8/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	0/10	問題なし
11	語彙と用語	0/10	問題なし
12	司会者の行動	0/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	0/10	問題なし
15	アジェンダ設定	0/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

8.0/10

公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schlaepfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1